

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスとて			
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日 ～ 令和8年 1月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数)	32
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日 ～ 令和8年 1月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 7日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの活動等のスペースを十分に確保している。	集団プログラム療育スペースだけではなく、気持ち切り替え時やストレス発散運動時にも大型遊具スペースを有効活用している。	痙攣時などの個別対応のタイミングを見計らう技法を向上させる。
2	こどもや保護者からの相談や申し入れに迅速に対応できるように報告をこまめに行っている。	こどもや保護者との会話内容や気付きをこまめに話し合うようにし、対応までの時間がかかりすぎないように心がけている。	日誌等も有効活用し、就業前に全職員が必ず目を通し把握し共有できるようにしていく。
3	プログラム活動が固定化されないように外部講師によるプログラムも取り入れている。	外部講師によるプログラムをランダムに組み込み、職員によるプログラム担当分けをしている。	多様なレクリエーションも含め、楽しみながら取り組めるプログラム考案に務める。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流、地域のこどもとの交流が現実化していない。	地域のおともだちの活発な活動の輪に入った時の危険性を考える職員の確保が難しい。	無資格の方でもお手伝いをしてもらえる方の関係性、繋がりを作っておく必要がある。
2	緊急時対応マニュアルや防犯マニュアルにそって避難訓練等行っているが、全ての利用曜日での実施は叶っていない。	聴覚過敏のこどもや痙攣での他害のあるこどもが利用している時の緊急時対応策がまだ根付いていない。	パニックが想定されるこどもが多い曜日にこそ訓練の取り組みと対応策を保護者に伝えるようにしていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名

放課後等デイサービスとて

公表日 令和8年2月9日

利用児童数 令和8年1月5日 46名

回収数

32件

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	26	1		5		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	32				・親も気付いていない所に気付いて頂き、さすがプロだと感じます。	お褒めの言葉、ありがとうございます。今後も些細なことでも気付けていけるよう、努力を重ねてまいります。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	2		1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31	1			・子供の成長・目標に合わせて支援計画をたてて頂いております。	今後も継続して成長や目標の定期的なアセスメントを行い、支援計画へと反映させていきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30			2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28	3	1		・固定化されているお茶や書道・お琴など続けて欲しいプログラムなので固定化してください。	貴重なご意見ありがとうございます。今後固定プログラムの検討をしていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	17	6	1	8	・他の放デイと行った運動会は楽しかったです。	来年度も開催できるよう努めてまいります。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	27	2		3		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	32					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	23	6	1	2	・平日なので参加できず残念です。 ・保護者会では和やかな雰囲気意見交換をしたりして有意義な時間を過ごさせていただいています	土曜日などの開催も視野に入れ、検討していきます。 今後も継続してどの保護者様にも有意義に感じていただけるような空間作りを行ってまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30			2	・親にとって相談しやすい環境を作っています。	電話やLINE、連絡帳を用いて、今後もいつでもお気軽にご相談ください。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28	1		3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	1		6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25	1		6		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29			3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29	1	1	1	・居場所の一つとなっていると思います。	今後引き続き、児童にとって安心してすごせる環境作りを行ってまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	2	1	2	・かなり楽しみにしています。 ・毎回とても楽しみにしていて、子供にとって大切な居場所になっているようです。	今後引き続き、児童にとって楽しさを感ずる場所の提供を心がけてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	3			・大満足です!! ・誠実に対応していただいでいて安心しておまかせする事が出来ています。本当に感謝しています。	お褒めの言葉ありがとうございます。更なる支援資質向上を目指し、努力を積み重ねてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスとして		公表日		令和8年 2月 9日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		令和4年に室内拡張工事を行い、広大なスペースの確保ができています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			余分人員の確保を目指し、求人に力を入れていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		直線的な室内空間により、子供達にとってもわかりやすく単純な構造になっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日の清掃に加え、各部の消毒作業を行い、加湿空気清浄機を設置している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		痙攣等を起こした場合にはカムダウンスペースとしてプレイルーム等の別室への誘導を行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	毎月月初にミーティングを行い、前月の振り返りや当月の目標を設定し、協議を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	月初ミーティングの際に保護者様からの評価表集計や内容を従事者へ周知し、更なる業務資質向上を図っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		月初ミーティングに加え、日々コミュニケーションを密にとり職員意見の収集を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		外部評価の内容把握、意識ポイントをそろえていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的な資質向上研修を開催し、業務改善へとつなげている。	外部への研修への参加も積極化を図っていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		HP内に支援プログラム作成後の公表済み。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		日々のアセスメントや保護者様とのやり取りを介してニーズや課題の収集を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	2		職員全体で話し合いをする時間の確保を定期的にとる必要がある。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	日々の支援計画を職員へ周知し、支援方法の統一化を図っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			保護者様より固定化を望むプログラムもあるため、今後検討していく。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	出勤時間のズレが生じる日も日誌やグループLINEなどで情報共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	長時間労働に繋がらないように配慮しながら、可能な限りで共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日誌を用いて利用児童の記録を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	制作プログラムなどでは自由作品を取り入れるなど、自己での意思決定を行えるよう配慮している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		同業他社との親交を深め、連携関係においている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		電話や迎え時に情報共有をできる限り行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3		保護者からの聞き取りのみとなっている事が多いため、改善を図る。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1		直近では交流の機会に恵まれていないため、今後検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		面談を通じて意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		日々相談事をしやすい環境作りに配慮し、電話やLINEでの相談・支援を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		定期的な保護者会の開催を行い、保護者同士の交流の場を設けながら情報交換を行っている。	現時点では平日のみの開催となっているため、土曜日の開催も視野にいれ検討している。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月おたよりを配布し、定期的に公式LINEやInstagramを用いて情報発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付き書庫を用いて個人情報書類の保管を行ううえ、社外への持ち出しは厳禁している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		今年度は機会がなかったため、今後開かれることがあれば積極的な参加を行う。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		定期的な避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		利用契約前に子供の状況シートの記入をお願いしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		毎月の月初ミーティング内以外にも、日々ヒヤリハットが発生した場合はグループLINE等で周知している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		定期的な虐待防止研修を自社内開催している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	現状、身体拘束が必要な児童はいないが、必要に応じて保護者との事前やり取りの上計画書への記載を行っている。	